



小池雄一

修郎先生の事件簿

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生修郎(さしやう・しゅろ)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木一郎 大変だ大変だ、新しい赴任者の松井秀喜君がイミグレーション(出入国管理局)に出勤したけど、写真も撮れずに帰ってきたよ。システムトラブルだって。

佐生修郎 あちゃあ、また起こってしまったね。今回のシステムトラブルは、暫定滞在許可に係るITASオンラインと呼ばれるシステムの不具合だね。

鈴木 えっ、イミグレーションのシステムって複数あるの？

佐生 そうだよ、大きく三つある。入国審査システムと、ビザ・オンライン、それにITASオンラインだ。

鈴木 入国審査システムは国の玄関口だけあって安定しているようだけど、いつもトラブルっているのは何なのさ？

佐生 ビザ・オンラインはテレックスの発行とビザ発給を管理しているシステム。テレックスが出ないとか、シ

ンガポールでビザが取れなかったという時は、このビザ・オンラインに障害が起こっている時だ。イミグレーション総局と在外公館とがリンクしているからネットワークに不具合があると機能しにくいものだ。

鈴木 今回の松井君の場合はどうなの？

佐生 この場合はITAS

オンラインの障害だ。イミグレーションへ出頭して写真撮影、指紋採取と手書きパッドで署名する。そのデータはこのITASオンラインで管理されITASが発行される。ITAS証明書はPDFデータとしていったん出力され、手動で申請者、もしくは申請

だ。

鈴木 このシステムがよくトラブルよね。トラブルの回避策や善後策はないの？

佐生 残念ながら、障害時の代替手段が全く用意されていないし、障害対応情報などは一切出てこない。システムの回復をただだまってるしかないのだ。

システムのトラブルだって？

者が指定したエージェントにメールで送信される仕組み システムなの？

佐生修郎 心得えの条

- 一 就労ビザの申請取得はイミグレーションと労働省でそれぞれシステム管理されている。当地の特徴としてトラブルが多いことを認識しておくこと。
- 二 システムのIDとパスワードは自社で管理してエージェントに任せきりにしないこと。できれば自分でモニタリングすること。

鈴木 I Dとパスワードがモニタリングできるよ。

鈴木 オッケー。早速IDとパスワードを覚えてもらってモニタリングするよ。

佐生 外国人労働者(TK A)オンラインというシステムがある。外国人雇用計画書(RPTKA)就労枠や就労許可(IMTA)はこのシステムで発行される。プロセスの進行状況なども見られる優れモノだ。ユーザーIDとパスワードがあれば一郎君の会社のパソコンからでも進ちょ

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。51歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

「修郎先生の事件簿」は、原則、毎月第1水曜に掲載します。